

進路だより

第四号 笠田高等学校進路指導部 二〇一八年九月六日発行

どんな進路に進んでも、最後には就職します。それまでに身につけるべきことは何か。進学する人も、三年生だけではなく、一・二年生の皆さんも今の自分のできることをしたいか、今からしておかなければならないことは何かを考えながら読みましょう。

就職特集

いよいよ出願・受験です！

七月二日の求人票開示以降、会社見学や事前指導に参加して意識とスキルを高めながら、いろいろな人と相談して志望企業を決定したことでしよう。指定校求人についても、先日の校内選考が行われ、一人一人の目標が決まりました。次はいよいよ出願です。

まず、履歴書を作成します。大学生等ではパソコンでエントリーシートを送ることが一般化していますが、高卒では「手書き」です。第一印象は文字。人それぞれに上手下手があり、数日で達筆になるのは無理な話です。まず大切なことは心を込めて一画一画丁寧に書くこと。人に見せられる自分のベストな履歴書を作るのはかなり大変です。できた！と思ったら、印鑑が傾いたり手でこすって汚したりして、また最初から書き直し、ということもよくあります。五枚、十枚と集中して書くのは根性がいらいます。

就職試験（一般的な例）
・面接試験
・一般常識試験（一般教養含む）
・作文



入社試験では必ず面接が行われます。それは「学力では測れない本人の人間性や人柄・将来性をみる」ためです。これは企業だけでなく進学でも同じです。

面接の目的と面接官が見るポイント

〈目的〉

①『企業が期待する社員（仕事を任せられる）』に近い人物か

② 素直で人の話をきちんと聞ける人物か（企業は人と人の関わりで成り立っているから）

③ 本人の入社意志が固いかどうか
これらを確認するために行われます。項目としては、志望動機・やる気・実行力・将来の方向性や夢・職業（学業）に対するイメージ・企業（学校）の概要・人柄・自己PRです。

もちろんこれ以外のことも質問されます。また、これらのことを聞いていくうちにより細かい話に発展することもあります。高次生が答えられる内容は限られています。他の受験者と内容が重なることもあるでしょう。ですが、不意の質問にも一所懸命に考えようとする姿勢や、服装・マナーなど、やるべきことを素直にしていることが感じられると好印象になります。

あなたが入社することによって会社（学校）の他の人たちに良い影響を与えられるか、気持ちよく共に仕事（学ぶこと）ができるかを見ています。

〈第一印象を大切に〉

第一印象が決まるまでの時間は？

- ・入室から第一声まで……48%
- ・自己紹介から始めの質問への応対まで……28%
- ・数回のやりとり以降……24%

入室時から初めの質問までの数分間で、第一印象が決まると回答した会社が80%近くあります。そこで判断される事柄は、人柄、常識度、意欲という合否判定の重要項目ですが、具体的には、身だしなみ、話し方、聞き方、姿勢になります。

これは、進学の面接にも共通するもので、急に直せるものはありません。日頃から意識しておくことが大切です。

「身だしなみ」は言葉遣いや挨拶と同様、いわば礼儀のひとつです。ファッション的に地味だから嫌だとか髪を少し残して束ねるとか、他の人とは違うという主張はかえってマイナスです。大切な場に相手が望むふさわしい身だしなみのできない人は、それだけで相手に大きなマイナス印象を与えてしまうこととなります。髪型、服装、爪、足元をチェックしておきましょう。

「話し方」とは、声・表情・視線のことです。小さすぎる声は自信のなさや入社後のコミュニケーションへの不安を感じさせます。はっきりとした口調で明快に話すことです。また、自分の良さをアピールすることが苦手な人が多いですが、謙遜せず自慢できる事実は堂々とアピールをしてください。

「姿勢」は、面接の間はもちろん、順番を待っている間も見られています。背筋を伸ばしてリラックスかつ適度な緊張感を持ちながら待ちましょう。また、面接室に入って椅子に着

席するまで、礼などの基本動作をきちんとこなしましょう。面接室までの廊下の歩き方も誰が見ているか分かります。普段の学校生活でも歩き方や座った姿勢の悪い人が目立ちます。姿勢が悪いと筋肉のつき方もアンバランスになり、運動にも悪影響を及ぼしますから気をつけましょう。

「話の内容」ですが、面接官は、意図を持って質問しています。すなわち、期待する答えがあるのです。質問の内容をしつかり聞き、的確に答えることを心がけましょう。緊張すると質問が頭に入っていないことも考えられます。そうならなうに準備をしておきましょう。

みなさんの就職内定の報告を期待しています。また、受験した後は、後輩のために受験報告書を作成してもらいます。先輩として役立つ情報や経験してきたことを伝えてあげてください。

一・二年生の皆さんへ

推薦入試や就職を希望している生徒の中に、一・二年生の時の欠席日数が多い人を見受けられます。欠席が多いと、企業はよく休んで周りに迷惑をかけるのではないかと、仕事をきちんと続けてもらえないのかと不安になり、進学先では、学校を数条件に挙げていたりともあります。逆に、皆勤賞の生徒については特に企業は高い評価をしてくれます。皆勤賞は無理でも、できる限り休まない方が就職・進学両方に有利です。「これぐらい休んでも大丈夫？」という自分基準の考えでは通用しません。学校と違い、企業では休めばその分他人に迷惑をかけるのですから、日頃から体調管理を心がけ、休むことのないようにしましょう。

【今後の予定】

- 九月 十五日(土) 三年ベネッセ・駿台マーク模試(希)
- 十月 九、十二日 中間考査
- 十月 十三日(土) 三年ベネッセ・駿台記述模試(希)
- 二一日(日) *河合塾マーク模試
- 二五日(木) 一・二年実力診断テスト(全)
- 二八日(日) *河合塾記述模試
- 十一月 三日(土) 三年ベネッセ・駿台マーク模試(希)
- 十九日(月) 公務員模試(二年希)
- 二五日(日) *三年センタープレテスト
- 十二月 二九、五日 期末考査
- 十二月 十二日(水) 一年学問系統別説明会

*は校外会場での受験

